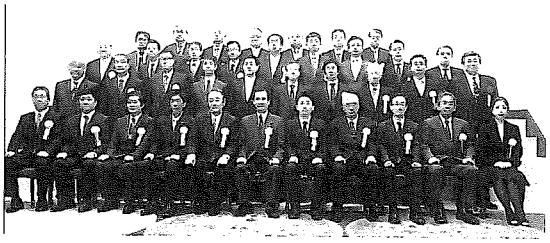
横浜市建築保全公社　令和元年度優良工事施工者表彰

品質・技術、安全性向上



横浜市建築保全公社は、令和元年度優良工事施工業者表彰式を11月15日、ロイヤルホールヨコハマにて、横浜市建築局、横浜市内建設関連団体の来賓及び公社幹部職員多数が出席して開催した。

まず、伊藤尋専務理事が選考経過を、30年度に発注した工事全体747件のうち随契を除いた表彰対象390件を施工した188者（建築74者・電気62者・機械52者）について施工体制、工程管理や安全対策などの施工状況、工事品質、出来映え、審査委員会の選考の結果21者に決定したと報告。引き続き、二宮智美理事長より一社一社に表彰状が授与された。

引き続き、二宮理事長が感謝とお礼の言葉を述べた。（別途掲載）。

来賓の祝辞では、鵜澤聡明建築局公共建築部長は、「確実な施工体制、高い技術力で適切な維持保全業務を行い素晴らし成果をあげられたことに深く敬意を表します。昭和50年代前後に作られた市の公共建築物は老朽化し、維持保全、修繕、長寿命化の時代になっています。最近頻発している自然災害に対しても建設業界の皆様のご尽力に感謝致します。この受賞を機会にさらなる技術力の向上、飛躍の契機になることをお祈り致します」と述べた。業界団体を代表して横浜建設業協会の山谷朋彦会長が各々、より良いものを造ろうとする高い意識、使命感が結実し、今回の受賞につながったとし、他の模範となり地元の技術力向上、発展に寄与すると述べ、感謝しますと述べ、自然災害での地元建設業界の役割、さらに現在の建設業界の置かれている状況に言及し、ともに一層努力していきたいと語った。

受賞者を代表して、芳垣建設の芳垣彰謙社長が、受賞に感謝とお礼の言葉を述べた。（別途掲載）。

お祝いとお礼の言葉

（公財）横浜市建築保全公社理事長　二宮智美

学校施設をはじめ、市民利用施設、福祉施設など多岐にわたっており、いずれの工事でもそれぞれの施設の運営への影響を最小限に抑え、限られた工期のなかで安全で質の高い施工が求められている。表彰対象者は、非常にしていただきました高いハードルでの受賞で、高い評点を目指して頑張っている施工技術の創意工夫、施設管理者との連絡調整や利用者への配慮、徹底した安全管理など様々な形で企業努力を発揮していただきました。その管理者や利用者と直接接する機会が多く、そのなかで信頼関係を構築していくことが大切です。本日表彰の栄に浴された皆様は、見事にその期待に応えていただき、公共建築物の安全性、利便性を高めていただきました。プロとしての技術と責任感を十分にお持ちの皆様と一緒に、公共建築物の保全業務に携われることを私達は誇りに思っております。

今後も、横浜市各局の期待に応え、密接に連携し、皆様とともに品質・技術、安全性を更に向上させ、施設利用者、市民の皆様から評価される取り組みを進めて参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

まずもって、豊富な経験と高い技術力により、当公社の修繕工事を優良に施工し、彰対象者は、非常に高いハードルでの受賞で、高い評点を目指して頑張っている施工者の皆様は、当公社が評価され、市民から厚い信頼を得ていくうえで、大変重要な存在であります。

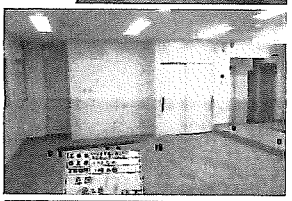
修繕工事は、施設管理者や利用者と直接接する機会が多く、

受賞を励みにさらに努力を

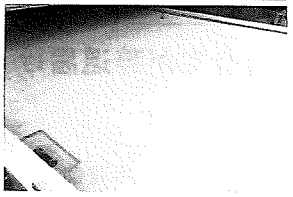
㈱芳垣建設　代表取締役　芳垣彰謙

この受賞は他の模範となる評価で、大いに励みになりさらなる技術力の進歩となる。日頃から公社主催の技術研修会への参加をはじめ、これまでの経験を活かし、建物は生き物であるという意識で、協調性とチームワークを大切にし、緊張感を持って安全に配慮し環境整備に努めるとともに、ニーズの変化に対応し常に最善を尽くしていきたい。この受賞を励みに、これまでの蓄積を継続し、さらに努力していきたい。

石黒建設㈱　飯島保育園建具改修その他工事（建築・機械）



今井建設㈱　中央卸売市場本場青果部店舗改修その他工事（建築・電気・機械）



㈱芳垣建設　中央卸売市場本場水産仲卸便所屋上改修その他工事

令和元年度優良工事施工者表彰受賞

技術と信頼に応えるISHIGURO
総合建設業
石黒建設株式会社
代表取締役　渡部唯夫
横浜市旭区下川井町2211－2
電話045(954)0331～3 FAX 045(955)5004
URL:http://www.ishiguro-ks.co.jp/

Imai 今井建設株式会社
代表取締役　今井新一郎
横浜市鶴見区駒岡1－27－16
電話045(571)0505 FAX 045(574)1875
http://www.imaikensetsu.co.jp

株式会社 芳垣建設
代表取締役　芳垣彰謙
横浜市金沢区福浦2－13－4
電話045(701)9028㈹ FAX 045(701)9079
E-mail:yoshigaki-kensetu@gaea.ocn.ne.jp

会津電業株式会社
代表取締役　菊地憲幸
ISO 9001認証取得
横浜市保土ヶ谷区星川1－17－15
電話045(335)5777㈹ FAX045(333)2798

電気設備設計・施工
株式会社 FGD
代表取締役　藤田順夫
本社　横浜市南区万世町1-19　吉田ビル4F
電話045(355)0377 FAX 050(3730)8655
https://www.fgd.co.jp

熊沢電気株式会社
代表取締役　熊澤義澄
横浜市南区南太田一丁目16－15
電話045(713)2111
FAX 045(713)3601
http://www.kumazawa-denki.com

K.E.C. 株式会社 小山電気
代表取締役　小山和幸
横浜市戸塚区矢部町135番地81
電話045(861)0535 FAX 045(861)0593
URL:https://k-office.wixsite.com/koyamadenki

新興電設工業株式会社
代表取締役　池松忠彦
本社　横浜市西区戸部町2丁目46番地1
電話045(241)7711㈹ FAX045(241)7717
営業所　厚木・栃木

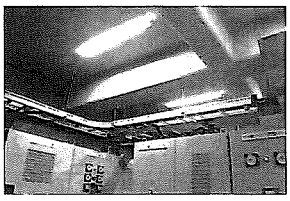
横浜市指定給水装置工事事業者
有限会社 イワック
代表取締役　菅谷淳
横浜市保土ヶ谷区仏向西25－3
電話045(341)5529 FAX 045(341)5537

総合設備・建築リフォーム・ビルメンテ
株式会社 MK設備設計
代表取締役　小森秀也
横浜市戸塚区川上町87－1
ウエルストン1ビル6階
電話045(392)6574 FAX 045(392)6557
http://www.mksetsubi.co.jp

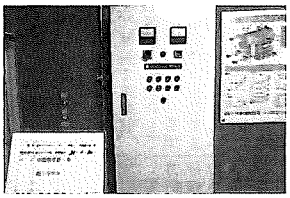
給排水衛生設備工事・暖冷房空調設備工事
興和工業株式会社
代表取締役　小堀段
横浜市旭区中沢3－55－17
電話045(362)0064㈹ FAX 045(365)4544

株式会社 司工事
代表取締役　清田真弘
横浜市保土ヶ谷区上菅田町1312
電話045(381)2121 FAX 045(381)2122

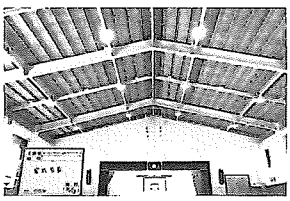
「お客様へ貢献する 設備のコンビニエンス・カンパニー」
快適な環境創りが私たちの誇めです
空調・給排水・衛生設備
株式会社 ヨコレイ
代表取締役　有井清
横浜市保土ケ谷区新井町657
電話045(381)4501 FAX 045(381)4392



会津電業㈱
中央卸売市場本場第二冷蔵庫棟受変電設備改修工事



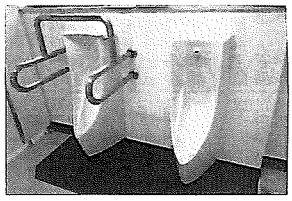
㈱FGD
東永谷中学校ほか1校プール循環ポンプ制御盤更新工事



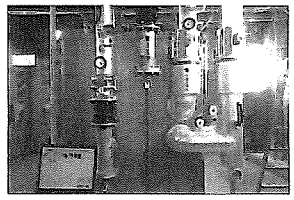
熊沢電気㈱
南戸塚中学校屋内運動場照明改修工事

㈱小山電気
市民防災センター災害用発電設備更新工事

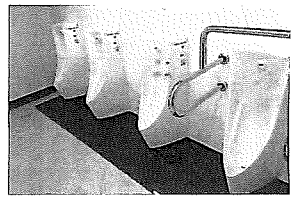
新興電設工業㈱
下野谷小学校給食室改修その他工事（電気）



㈲イワック
市ケ尾小学校トイレ改修その他工事（機械）（その2）

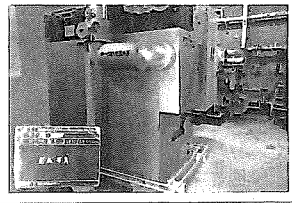


㈱MK設備設計
保土ケ谷公会堂吸収冷温水機等更新工事



興和工業㈱
竹山小学校トイレ改修その他工事（機械）

㈱司工事
下野谷小学校給食室改修その他工事（機械）



㈱ヨコレイ
消防訓練センター吸収冷温水機等更新工事（その2）

相模原市

厳しい財政状況受け
行財政構造改革プラン策定へ

相模原市はこのほど、（仮称）行財政構造改革プランの策定に入る考えを明らかにした。財政状況や長期財政収支の動向、今後の人口動態等を踏まえ、市総合計画で描く市の将来像を実現するためには、行財政運営の構造を抜本的に改革する必要があるとの判断から取り組むもの。

市によると、財政の厳しさが増す中で、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業において一時的に多額の経費が生じることが想定されるとともに、近年の異常気象により台風等が頻発し、大規模な災害が発生するなか、災害復旧費等が市財政に影響を与えるおそれがあると予測する。

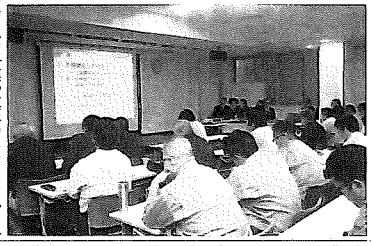
プランの策定に先立ち行った試算では、歳入見込み額に比べ、一般財源ベースで約60億円から134億円（令和2年度から9年度までの単年度当たりの数値）の歳出超過が生じるとの結果が出た。市では、こうした状況は新規・拡充事業を実施できないことはもとより、現行の行政サービスの水準についても維持できないことを意味すると話す。

こうした中、改革プランは、単なる事業費の縮減やスリム化を図るものではなく、人口減少と財政が硬直化している中にあっても、持続可能な行財政基盤を築いていくことを目的としたものだ。

策定に当たっては、庁内におく改革本部と学識者で成る経営評価委員会で議論を具体化させる。計画期間は令和2年7月から9年度末とする。今後は、年明け1月下旬にも委員会を開催し、4月にパブリックコメントを実施し、6月下旬に確定させる。

なお、2年度予算編成方針では、一部事業を除き、原則「新規・拡充事業の凍結」、「今後本格化する大規模事業の一時凍結」を行う方針だ。

横建協が技術講習会
講師に横浜市技術管理課職員



横浜建設業協会（山谷朋彦会長）は26日、建設会館において、土木工事技術・安全講習会を開催した。会員企業の現場担当者が集まる中、講師に横浜市道路局、環境創造局、それに水道局技術監理課から職員を招き、工事安全対策、地下埋設物毀損防止対策、7月改正の土木工事標準積算基準書に関する説明を聞いた。

冒頭、あいさつに立った水村副会長は「ここで得た知識を会社の経営に役立てて下さい」と呼びかけた。

一方、水道局の木村吉昭技術監理課長は「講習会には、市内企業の技術力向上の支援になるよう参加した。有意義な情報を提供できるように進めていきたい」とあいさつした。

秋山教道路局技術監理課積算基準担当が積算基準書改正、松本哲児環境創造局技術監理課技術監担当が工事安全対策、浦野宏太水道局技術監理課技術指導係と鈴木康弘同局設計基準係長が地下埋設物毀損防止に向けた取り組みについて説明を行った。

県土整備局

東海道線村岡新駅
概略設計の監理業務
見積提出者が参加条件

県県土整備局は26日、藤沢市内で計画中の東海道本線村岡新駅（仮称）概略設計の監理業務を公告した。10月15日公告の見積公募で見積書を提出したものを対象に参加を求める。

村岡新駅は、藤沢駅から2・1キ、大船駅から2・5キの距離で計画されている。業務は、同市宮前615地先において、概略設計協与条件の整理、設計協議の課題整理、図面等の照査、工事方法の妥当性検証、鉄道事業者との協議資料の作成など概略設計の監理業務を行う。

見積書の提出募集の際には、2009年4月以降に、公共機関等から「鉄道の新駅設置に伴う駅設備及び自由通路の整備計画について、建設コスト縮減の観点から検討を行った業務」を元請けとして受注し、完了した実績を有することを条件に付し、参加を求めている。

28日まで参加を受け付ける。開札日は12月13日、履行期限は20年3月31日。

ご意見、お問い合わせは横浜本社まで 電話〇四五(262)二七〇〇

東日本建設業保証㈱
10月の取り扱い状況

東日本建設業保証㈱神奈川支店はこのほど、10月に取り扱った前払い金保証のうち、工事場所が県内を対象とした取り扱い状況を明らかにした。10月の前払い金保証実績は、件数1,038件（対前年同月比13・6%減）、請負金額402億6,600万円（同19・3%減）だった。過去10年で見ると、件数、請負金額とも過去最低の数字だ。

発注者別では別表のとおりで、請負金額を対前年度同月比で見ると、市町村89億円、県11億円、国9億円の減少となっている。

4月から10月の累計は、件数5,747件（対前年4月～10月比1・1%増）、請負金額4,997億6,500万円（同2・1%増）となっている。過去10年では、件数が上から6番目、請負金額は最も高い数字だ。

（金額単位：百万円）

区分 / 発注者	令和元年度 件数	令和元年度 請負金額	平成30年度 件数	平成30年度 請負金額	増減（数・額） 件数	増減（数・額） 請負金額	増減率（%） 件数	増減率（%） 請負金額
国	18	3,263	20	4,193	-2	-930	-10.0	-22.2
独立行政法人等	20	5,086	25	4,723	-5	362	-20.0	7.7
都県	256	8,182	296	9,381	-40	-1,199	-13.5	-12.8
市町村	664	19,885	770	28,860	-106	-8,974	-13.8	-31.1
地方公社	59	1,372	73	1,547	-14	-175	-19.2	-11.3
その他	21	2,475	18	1,172	3	1,302	16.7	111.0
合計	1,038	40,256	1,202	49,880	-164	-9,614	-13.6	-19.3

関東地整

ICT施工技術講習会
相模原で12月17日

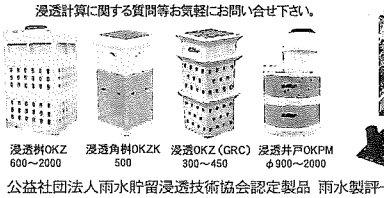
関東地方整備局は12月17日午前9時30分～午後3時55分に第9回ICT施工技術講習会（土工）を開催する。会場はエスアールエス相模原教育センター（相模原市中央区田名3495―2）。定員20人で、定員になり次第締め切る。参加費は無料。申し込みは12月10日までに建設技術展示館ホームページから行う。講習会については、全国土木施工管理技士会連合会のCPDSプログラムの認定を受ける予定。

土工関連企業の施工管理技術者や地方自治体職員を対象として、ICT施工技術を現場で活用するために必要な設計から施工までの具体的な流れや計測、データ処理からICT建機の活用方法までの知識を座学と実習を通して理解を深める。

プログラムは、企画部施工企画課の担当者がiConstructionにおけるICT施工技術の取り組みを説明。日本建設機械施工協会のが担当で実習なども予定されている。

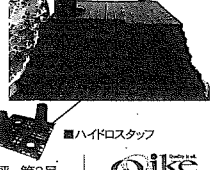
問い合わせは、関東ICT建機施工体験実習を行う。さらに日本測量機器工業会による三次元測量機器計測実習、レジストレーションと点群データ処理、三次元設計データ作成・技術事務所建設技術展示館事務局（℡047―394―6471）。

OK式雨水浸透施設
浸透計算に関する質問等お気軽にお問い合せ下さい。



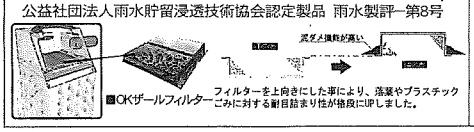
浸透桝OKZ 600～2000　浸透角桝OKZK 500　浸透OKZ（GRC） 300～450　浸透井戸OKPM φ900～2000

雨水貯留浸透層プラスチック部材等



■ハイドロスタッフ

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会認定製品 雨水製評―第8号



■OKザールフィルター ごみに対する耐目詰まり性が格段に UP しました。
フィルターを上向きにした事により、落葉やプラスチック

Oike 株式会社オーイケ
URL【オーイケ】で検索
E-mail info@ooike.net